



学校だより



墨田区立第三吾孺小学校

校長 川中子登志雄

令和5年10月1日

10月号

「主体性の育成」に向けて 今、考えていること

副校長 白石 哲也



ある日のこと、掃除の時間のことです。

A「～（名前）～、そうじ やれよ！」

B「やだね～」

A「先生に言ってやる～」

B「え！」

しぶしぶAさんについて行く。（きっと、その後は掃除をしたのでしょう）

Bさんは結果的に掃除をしたのかもしれませんが、残念ながら主体性を感じる場面ではなかったのです。これは、きっと先生に怒られるのが嫌でついて行き、無理矢理にやることになってしまっている状態なのでしょう。

子供たちの主体性を育成しようと、学校改革を進めていき、半年が経ちます。

「目的達成のために、自分で行動を選択し、最後まで粘り強く、やり遂げる」

こんな姿が、主体性がある人の姿と言われています。

では、先ほどの場面、万が一主体性が育っている子供だったら、どうなるのでしょうか。そもそも、

「そうじ、やれよ」

という言葉が出てきません。先生や子供たちで、きれいな教室にしたいという目的を共有し、そのために自分ができることを子供たちが自分の行動を決める…

ですから、

「机は、持ち上げて運ぼう！」とか

「隙間を空けずに拭くために、ぞうきんの人たちはきちんと並ぼう」

みたいな声が自然に上がるようになります。みんなが目的を達成しようとしているので、自然と協力できる体制ができるようになります。物事がスムーズに進むこととなります。

つまり、同じ「掃除をする」行為でも、その考え方によって、結果として・成果として出てくる姿は違うということです。「～におこられるから、ちゃんとしなさい」的な大人からの声かけで動くのではなく、「目的（夢）の実現のために」「なりたい」を共有し、自ら行動できるようになってほしいと考えています。

そのような態度を育てるために、現在校内でたくさんの専門家の話を聞きながら、どうしたらよいかを考えています。10月から後期になります。校内での実践も本格的に始めていきます。

・主体性を育む授業 ・特別活動 ・リーダー・イン・ミーの授業

お子さんを通して、どんなことを学んでいるのかをご家庭で話をしていただけたらと思います。

最近のCMのなかで、主体性を感じるものがあったので、紹介します。

前からも、そして、これからも「主体性」をもっている人は、どんな分野でも活躍できるようになっていくのでしょう。

「自分の選択を、成功にするのも自分なので」

決断することで、人生を変えた人たちがいる。田臥勇太、プロバスケットボール選手。現状に満足せず、常に厳しい環境に挑み続ける彼は実業団選手だった。日本人で初めてNBAでプレーするため、つながる可能性のある扉をとにかく開き続けた。無謀だと言われても、失敗で決して立ち止まらず、世界一の舞台に立った彼は言う。

ハイクラス転職サービス「doda X (デュダエックス)」のテレビCMシリーズ

『X Career-Gallery』第2弾より

自らを成長させるために、「何をするのか」「自分で何を選択するのか」決断した人の重い言葉です。

第三吾孺小学校の子供たちにも、自分の生き方に自信をもち、幸せに過ごせる人になってほしい、そのためにできることはないか、今、必死に考えています。学校だけでなく、保護者の皆様、地域の方々と共に一緒に考え、育てていきたいと思えます。今後とも、ご理解・ご協力をお願いいたします。



〈お知らせ〉

イヤホンについて

10月より本校では、学びの個別最適化を図るため、家庭からイヤホンを学校に持参することを推奨することにいたしました。そのことについて3点注意事項があります。

○イヤホンはタッチペンと同様の扱いです。学校は、破損や紛失について責任を負いません。収納場所は家庭で確認してから持たせてください。

○教員や支援員からの着脱の指示が守れない場合には、教員が預かり保護者に返却させていただきます。

○持参は強制ではありません。改めて購入をお願いするものではありません。

以上のことをお子様と確認していただき、持参が可能なご家庭は持たせてください。



通知表・キャリアパスポートについて

10月6日(金)終業式にお渡しする前期の通知表は、後期になりましたら、ファイルごとお子様に持たせてください。13日(金)までにお願いいたします。なお、先日配信したオンライン保護者会全体会で説明しました通り、今年度の通知表には、学習・生活面における児童自身の振り返りが記載されています。ご覧になり、前期の成果と課題をお子様とお話ください。

キャリアパスポートは、お子様が持ち帰りましたら裏面に励ましの言葉を記入いただき、持たせてください。教室で保管します。



〈学年の様子〉

5年生 信州高遠移動教室

5年生は9月27日(水)から29日(金)の三日間、移動教室に行ってきました。今回は長野県伊那市にあります、国立信州高遠青少年自然の家に宿泊しました。大自然の中にあるとても広い施設で、飯ごう炊飯やキャンプファイヤー、星空鑑賞などの貴重な体験をしました。

初日は、はじめて保護者のもとを離れての生活する緊張感や、活動を楽しみにしている期待感でいっぱいでした。集合時間に間に合わず、行程が遅れてしまうこともありましたが、しかし時間が経つにつれて、同じ班の仲間と声をかけ合ったり、友達の準備・片付けを手伝ったりと、多くの児童が教育目標の「自立」と「共生」を意識して行動することができるようになりました。また他校の先生に自ら挨拶したり、すべての活動に主体的に取り組んだり、5年生の持ち前の能力も発揮しました。とても有意義な時間を学年で過ごすことができました。とても大きな成長を見せた三日間でした。

出発式や帰校式には、たくさんの保護者の方がお見送りに来てくださいました。また集金や提出書類もご協力いただき、ありがとうございました。

再来週より後期に入ります。移動教室で身に付けた団結力をスポーツフェスティバルや展覧会で発揮してほしいと期待しています。

(5年生担任)

